

国際交流プログラム		演習	国際交流委員会	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの選択必修科目、会計ファイナンスコースの専門選択科目、経営・経済コースの専門選択科目	科目ナンバリング	23122101	

1. 授業のねらい・概要

今現代社会ではインターネットを通じて瞬時に世界の情報にアクセスできますが、実際に海外を経験することの意義は非常に大きいです。本研修は、アメリカでの語学研修を通じて、英語力の向上だけでなく、異文化理解と国際的な視野の拡大を目指します。ネイティブの教員による英語学習と、日常生活での実践を通じて、コミュニケーションの楽しさと文化の違いを体感し、自分を高める研修です。また、日本企業の現地法人訪問や米大リーグ観戦を通じて、ビジネス文化とスポーツ文化にも触れます。

2. 授業の進め方

新型コロナウイルスの影響により実施が難しかったプログラムを見直し、研修場所をアメリカに決定しました。事前授業を前期に3～4回実施し、英語や現地事情について学びます。現地での研修は6泊8日で、4日間、合計約16時間の語学授業を受けます。さらに、日本企業の現地法人訪問や米大リーグ観戦も行います。帰国後には事後レポートを提出してもらいます。研修内容、日程、授業時間などは状況により変更されることがあります。

3. 授業計画

6-7月に3～4回の事前授業として、英語および米国カリフォルニア州における事情、地理・観光、産業・経済、歴史、文化、渡航手続き等に関して講義を行います。	8-9月に1週間から10日程度（変更の可能性あり） ● 1日約4時間（合計約16時間）の語学授業 ● 日本企業の現地法人訪問 ● 米大リーグ観戦 事前授業、研修内容、日程、授業時間など状況により変更されることがあります。
--	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

パスポート、ESTA（電子渡航認証システム）、旅行保険、クレジットカードなどの準備（事前授業で指導）。
渡航先の文化、気候、地理的情報、社会情勢についての調査（約2時間）。
日本国籍以外の学生は、アメリカ入国に際して必要なビザの取得など手続きを確認し対応すること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポートは担当者の指示に従って提出すること。帰国報告会にて意見交換とフィードバックを実施します。

6. 授業における学修の到達目標

正確な英語が話せなくても、外国人と積極的にコミュニケーションを図れるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

事前授業での受講態度、研修先における語学授業での受講態度（および修了証の取得・提示）（70%）
事後の研修レポートの提出（30%）。

8. テキスト・参考文献

研修先で配布される資料を使用

9. 受講上の留意事項

参加申し込みは5-6月中に行い、研修参加費出発前指定締切日までに納付する
留学生はビザの取得が必要な場合、早めに手続きを行うこと

納付後のキャンセルは返金不可（旅行会社の規定に従う）

研修参加費は 30－40 万円を予定。渡航費，語学学校，宿泊費を含む。他生活費（食事代等），現地交通費が別途必要

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。